

資料紹介

愛知用水関連資料・完形資料 ー猿投・尾北・瀬戸・知多古陶磁の基準資料ー

Collection of Aichi Prefectural Ceramic Museum

The Complete form Ceramic collection that ware excavated from the kiln sites in Aichi Prefecture, by Nagoya University in 1955-1962. These are standard formula of identifying produce age of Antique ceramics produced in Sanage, Bihoku, Seto and Tokoname ware.

小川裕紀

Hiroki Ogawa

大西遼

Ryo Onishi

概要

愛知用水関連資料は1955年から1962年にかけて、愛知用水の建設に関連して、流域に分布する古窯跡群ー猿投・尾北・瀬戸・知多諸窯から採集・出土した古陶磁資料で、尾張古陶磁編年の標式資料である。同資料は残存率や学術的価値によって、「完形資料」・「重要陶片資料」・「一般陶片資料」に区分されている。これらは調査時から愛知県教育委員会が出土文化財として所管してきたが、2014年12月から愛知県陶磁美術館が博物館資料として所管することとなった。本稿では「完形資料」を博物館資料として所蔵品図録の形式によって情報公開するとともに、同資料の保管史及び受容史を振りかえり、今後の活用の在り方について考察する。

1 本稿の目的

1955年から1962年にかけて、愛知県教育委員会は名古屋大学考古学研究室に、愛知用水建設地域に分布する古窯跡の調査を委託した。同大・榑崎彰一氏らが分布・発掘調査を行った結果、古窯跡から多くの古陶磁資料が採集・出土した。これを「愛知用水関連資料」と称する。同資料の所有権は調査後に国から愛知県へ移り、愛知県教育委員会が所管してきたが、2014年12月から愛知県陶磁美術館が所管するところとなった。

愛知用水関連資料は、愛知用水流域における古陶磁研究の基準資料である。同資料は完形資料や重要陶片資料を中心に、同地方を対象とした古陶磁関連の文献にたびたび掲載されたり、陶磁美術館の内外で展示公開されたりしてきた。しかし、同資料の全体を網羅した資料目録や図版は一般に公開されることがなく、その全体像は一部の古陶磁研究者以外にはうかがい知ることが出来なかった。

博物館が博物館資料に関する情報を広く公開・発信することは、博物館の重要な責務の一つである。本稿では愛知用水関連資料の所管が陶磁美術館へ移ったことを契機として、同資料における最も基幹的な「完形資料」について、所蔵品図録の形式によって公開する。本稿により、愛知用水関連資料がこれまで以上に活用されることを期待したい。なお、本稿は大西が第3章に関する図版ページ、その他を小川が分担執筆する。図版写真撮影は大部分を大西が行い、一部を博物館実習生（愛知県立大学：赤星友里・澤田香南子）が行った。

2 愛知用水関連資料の概要

愛知用水関連資料は、上述のとおり1955年から1962年にかけて、愛知県教育委員会・名古屋大学考古学研究室が愛知用水建設地域に分布する古窯跡を調査した結果に現出した古陶磁資料である。その内容は、猿投山西南麓古窯跡群、尾北古窯跡群、瀬戸古窯跡群、知多半島古窯跡群の出土資料である。これらは一般にそれぞれ通称として、猿投窯、尾北窯、瀬戸窯、知多窯ないし常滑窯と呼ばれている。

一方、陶磁美術館では愛知用水関連資料を前保管者である名古屋大学から移動するに際して、「完形資料」「重要陶片資料」「一般陶片資料」の区分を設定した。完形資料は118件119点、重要陶片資料は33件190点、一般陶片資料は99件5,455箱である。完形資料及び重要陶片資料は、残存率や学術的価値の高い資料を愛知用水関連資料・全資料の中から抽出したものである。前者の抽出は遅くとも1963年、後者は1989年までに行われた。

本稿で紹介する愛知用水関連資料・完形資料は猿投窯出土資料を中心としつつ、尾北・瀬戸・知多の諸窯から構成されている。愛知用水関連資料・全資料において特に残存率及び学術的価値が高いもので、愛知用水流域における古陶磁研究の基準資料として機能してきた。同資料は古陶磁関連の文献や展覧会においてたびたび紹介されてきたが、これらの全体が一括的に公開されたことはなく、本稿が初の網羅的な情報公開となる。

3 愛知用水関連資料・完形資料

3-1 猿投

猿投窯は、東山地区・岩崎地区・鳴海地区・折戸地区・黒笹地区に大別されている。愛知用水関連資料・全資料のうち猿投窯に関する部分では、黒笹地区所属窯跡が多いのに対し鳴海地区所属窯跡は1つのみにとどまるなど、愛知用水関連資料を構成する猿投諸窯は地区によって窯数に偏りがあり、愛知用水関連資料・完形資料のうち猿投窯関連資料もこの比率構成を反映したものとなっている。内容は古代猿投窯編年・主要窯式の標識資料が中心であり、愛知用水関連資料・完形資料の中核的な存在である。

東山50号窯跡資料は猿投窯編年H-50号窯式の標式資料で、7世紀中葉の所産と考えられている。本完形資料は、高杯1点のみである。後続するI-17号窯式・I-41号窯式と対比するために、古墳時代以来の代表的な器種を選択抽出したものである。

岩崎17号窯跡資料はI-17号窯式の標式資料で、7世紀後葉の所産と考えられている。本完形資料は、蓋杯・高杯・平瓶・搦鉢・短頸壺・四耳壺である。また、岩崎41号窯跡資料はI-41号窯式の標式資料で、7世紀末―8世紀初の所産と考えられている。本完形資料は、鉢・片口・短頸壺・台付長頸壺である。岩崎17・41号窯資料はともに前代のH-50号窯式と対照的に、飛鳥時代に入って新たに登場した器種を

中心に構成されている。

なお、愛知用水関連資料・完形資料では、I-41号窯式に後続するC-2号窯式の該当資料は尾北窯資料に含まれているが、C-2号窯式に後続するI-25号窯式の標準的器種の資料を欠いている。

鳴海32号窯跡資料はNN-32号窯式の標式資料で、8世紀中葉後半頃の所産と考えられている。本完形資料は、蓋杯・双耳椀・陶塔片である。なお同窯式の完形資料に、鳴海39号窯資料の杯1点がある。

古代猿投窯編年研究において、折戸10号窯跡資料は「O-10号窯式」、井ヶ谷78号窯跡資料は「IG-78号窯式」、黒笹14号窯跡資料は「K-14号窯式」の標式資料として位置付けられてきた。ただし、20世紀末以降の研究ではK-14号窯式を第1段階と第2段階に細分する一方、IG-78号窯式とK-14号窯式第1段階を併行期とみなす見解が示されている。そして、K-14号窯式第2段階のみをK-14号窯式として再設定する編年案と、IG-78号窯式をK-14号窯式第1段階に含める編年案が提示されている。実年代については、O-10号窯式は8世紀後葉－9世紀初、従来のIG-78号窯式は9世紀初め頃、K-14号窯式は9世紀前葉－中頃の所産と考えられている。

O-10号窯式－完形資料・折戸10号窯跡資料は水瓶・浄瓶の2点である。前者は灰釉が剥離しているが、器体は焼成が良好でほぼ完存しており、原始灰釉陶器水瓶の優品である。この他、黒笹39・40号窯跡資料に長頸瓶や小型品の長頸瓶・蓋付短頸壺がある。

IG-78号窯式－井ヶ谷78号窯跡資料は盤と風字硯の2点、折戸9号窯跡資料は椀と長頸瓶の2点、黒笹3号窯跡資料は高杯・高盤の2点である。長頸瓶は造形・焼成ともに良好で原始灰釉陶器長頸瓶の優品である。

K-14号窯式－黒笹14号窯跡資料は、平瓶・三耳壺・風字硯の2点、黒笹5号窯跡資料は皿・段皿・三足盤・手付瓶、黒笹35号窯跡資料は椀・円面硯・陶塔片である。これらの椀・皿・瓶類の多くは灰釉がよく溶融し、成立期灰釉陶器の優品である。

黒笹90号窯跡・89号窯跡資料はともにK-90号窯式の標式資料で、9世紀後半の所産と考えられている。内容は、緑釉陶器素地と灰釉陶器の椀・皿・瓶類等である。これらは残存率が高く、古代猿投窯における最盛期の施釉陶器生産の技術的到達点をよく示している。

八事堂資料は、緑釉緑彩三足盤2点と火舎・花瓶からなる。三足盤は火を受けて変色しているが、平安期の緑釉緑彩陶器の資料として希少な存在である。火舎・花瓶は残存率が高く、仏教関連遺跡における仏器使用の様相を窺うことができる資料である。

愛知用水関連資料・完形資料では、K-90号窯式に後続するO-53、H-72、百代寺の各窯式の該当資料を欠いている。本完形資料では、これらに後続するHG-79号窯・片口椀(11世紀末－12世紀前葉)、HG-61号窯・瓦(12世紀中葉)が存在する。

3-2 尾北

愛知用水関連資料・全資料のうち尾北窯に関する部分では、大半を高蔵寺2・3号窯出土資料が占めており、他に篠岡地区古窯資料がある。愛知用水関連資料・完形資料のうち尾北窯関連資料もこの比率構成を反映したものとなっている。

高蔵寺2・3号窯跡資料は猿投窯編年C-2号窯式の標式資料として位置付けられ、8世紀前葉の所産と考えられている。本完形資料は、蓋杯・平瓶・大盤・片口・甌、陶硯である。資料の状態もよく、律令

期須恵器の概要を知ることができる好資料である。

篠岡 5 号窯跡資料は、緑釉陶器片と灰釉碗である。緑釉陶片はいずれも小片であるが、素地・焼成・釉調ともに 9 世紀・尾北窯緑釉陶器の特徴をよく知ることができる資料であり、陶磁美術館において長く常設展示紹介している。

3-3 瀬戸

愛知用水関連資料・全資料のうち瀬戸窯に関する部分のほぼ全てを孫右衛門窯出土資料が占めており、同・完形資料のうち瀬戸窯関連資料は全て孫右衛門窯資料によって構成されている。

孫右衛門窯跡資料は、古瀬戸中期様式後半期の標式資料として位置付けられ、14 世紀第 2 四半期の所産と考えられている。本完形資料は、瓶子及び四耳壺を除く古瀬戸中期様式の主要基本器種を網羅するものである。施釉陶器—いわゆる古瀬戸のみならず山茶碗・小皿が含まれている点特徴的で、生産の全体像を把握しようとする考古学の様式論的な思考が窺えて興味深い。また、本完形資料には狛犬陶片が含まれる点特記され、陶製狛犬研究においても重要な位置を占めている。

3-4 知多

愛知用水関連資料・全資料のうち知多窯に関する部分では、大半を籠池・金色・窯山・八巻・松淵の諸窯出土資料が占めている。同・完形資料のうち知多窯関連資料は、これら諸窯資料から抽出されたもののほか、陶ヶ峰・市右原・平井口の諸窯資料から構成されている。

籠池第 9 号窯資料は、壺・片口鉢・分銅型製品の 3 点である。13 世紀第 2 四半期の所産と考えられている。壺は口縁部の一部を欠損するが、信楽蹲壺を思わせる形状・サイズである。

陶ヶ峰第 2 号窯資料は山茶碗・小碗・短頸壺の 3 点で、12 世紀第 3 四半期の所産と考えられている。短頸壺はほぼ完器の状態で、鑑賞陶器としても高く評価できる。

窯山第 3 号窯資料は壺 1 点で、13 世紀中頃の所産と考えられる。大破接合品であるが、大きさと肩の張った造形に力強さがある。

松淵 2 号窯資料は羽釜 1 点で、12 世紀第 3 四半期の所産と考えられている。これまで陶磁美術館の資料台帳では「窯山第 3 号窯」と記載されていたが、本稿で訂正する。

金色第 5 号窯資料は三筋壺・壺の 2 点で、12 世紀後半の所産と考えられる。両者ともに焼き歪み・割れ、自然釉等の各種窯変が現れ、造形要素豊かな古美術品の佳品といえる。

市右原第 3 号窯は、12 世紀第 4 四半期から 13 世紀第 1 四半期にかけて操業したと考えられている。本完形資料は山茶碗・小皿の 2 点で、12 世紀第 4 四半期に帰属する。

八巻窯は 12 世紀第 1 四半期から第 3 四半期にかけて操業したと考えられている。本完形資料は山茶碗・小碗・片口鉢・草花文水滴で、水滴は刻画文陶器として希少な存在である。

平井口第 1 号窯資料は常滑窯編年 10 型式期の標式資料として位置付けられ、15 世紀後半の所産と考えられている。本完形資料は片口鉢 1 点で、本来は三口であったと思われる。

4 愛知用水関連資料の保管史 (1)

—資料の出現から、完形資料等の陶磁資料館への移動まで—

1960年(昭和35年)7月23日、川崎音三氏・荒川豊蔵氏らが「日本陶磁器博物館(仮称)設立要望書」を愛知県知事(桑原幹根)に提出した。また8月24日、本多静雄氏ら「東海古窯研究会」も同館に関して愛知県知事に要望書を提出した。両要望では1955年から出現した愛知用水関連資料に言及し、特に後者ではその活用を求めている。これらの要望は後に愛知県陶磁資料館の建設・事業として結実することとなるが、その起点は同年にあったといえる。

一方、愛知用水関連資料の出現時、同資料は発掘調査の実施者である名古屋大学考古学研究室が保管していたと思われる。一連の発掘調査が終了した後の1962年9月、愛知県教育委員会は名古屋大学に対して同大学構内に「愛知県古窯跡群出土品収蔵庫」を建設することを申請し、11月・12月に許可された。翌年2月、愛知県教育委員会と名古屋大学は同収蔵庫と同資料の管理運営について協議し、覚書を交わした。愛知県は同大学構内に収蔵庫を建設して、愛知用水関連資料を収蔵。なお、収蔵庫建設には国庫補助があったという。愛知用水関連資料は愛知県教育委員会が所管し、名古屋大学が保管・管理することとなった。この際に、名古屋大学敷地一国有財産の使用料と愛知用水関連資料一収蔵品の利用負担金を相殺するために「古窯跡出土品」の目録が作成された。ただし、具体的な資料名と窯跡名が明記されたものは本稿第3章で紹介した「完形資料」に相当する118件のみで、他は「陶片(林檎箱2800, 整理箱400)愛知用水地域各古窯址」と記載されている。

1966年「国立陶芸博物館設立運動」を経て、1968年度から1971年度にかけて愛知県は陶磁器専門の博物館を建設するための調査及び建設予定地の策定を実施した。1972年6月に愛知県陶磁資料館(仮称)建設会議が設置され、翌年6月に同会議が「愛知県陶磁資料館(仮称)基本計画」を策定した。同計画では事業内容の1つに文化的・考古的遺産として貴重な陶磁資料の収集・保管等を掲げているが、愛知用水関連資料の収蔵について直接的な言及はない。この時点では国庫補助を受けた築約十年の名大構内収蔵庫が存在したためと推測されるが、詳細は不明である。

1978年(昭和53年)6月1日、愛知県陶磁資料館が開館した。この際に、開館を記念して収藏品図録『愛知県陶磁資料館』が刊行された。同書では、愛知用水関連資料の一部が「名大保管資料」として掲載されている。博物館の所藏品図録に所藏品以外の資料を掲載することは異例といえ、愛知用水関連資料の一部―特に完形資料が陶磁資料館所蔵資料に準ずる位置付けであったことが窺える。この後、昭和年代末まで同資料が完形資料を中心に陶磁資料館常設展・企画展で展示紹介されることとなるが、その際には同館が名古屋大学から該当資料を借用する手続きをとっている。

なお、愛知県陶磁資料館の所管事務は建設準備段階では愛知県商工部であったが、1978年4月から1991年3月まで愛知県教育委員会が所管した。陶磁資料館と愛知用水関連資料の所管がともに愛知県教育委員会であったことで、同館が同資料を取り扱いやすい状況下にあったと思われる。1988年度には陶磁資料館の拡充整備について基本的な調査・検討が行われ、これに伴って愛知用水関連資料の保管場所を名古屋大学より陶磁資料館へ移動することについても検討が始まった。

1989年(平成元年)3月、愛知県教育委員会が名古屋大学に対して愛知用水関連資料・完形資料及び重要陶片資料の保管場所を愛知県陶磁資料館へ移動することを依頼し、同月許可された。同月頃に同大より同館へ、これらの実資料が移動されたようである。なお、愛知用水関連資料の調査研究を推進した榎崎彰一氏が3月末をもって名古屋大学を定年退官し、4月から陶磁資料館参与に就任している。これらを受けて1989年度には、陶磁資料館拡充整備の検討が本格的に行われることとなったのである。

愛知用水関連資料の完形資料・重要陶片資料の所蔵者表記は1988年度までは「名古屋大学蔵」(または「保管」)とされることが多かったが、1989年度からは「愛知県陶磁資料館蔵」(または「保管」)と表記されるようになった。完形資料・重要陶片資料は大学の学術研究資料から博物館資料へと転換されたことになる。しかし、この時点では全資料の所管者が愛知県教育委員会であることに変更がなかったため、陶磁資料館の博物館資料としての情報公開—特に資料目録や画像の公開は不完全なものであった。

5 今後の課題

2014年12月、愛知用水関連資料は愛知県教育委員会が所管する出土文化財から、愛知県陶磁美術館が所管する陶磁資料へと転換した。同資料を博物館資料として位置付けるためには、資料の学術的調査研究のみならず、資料の情報公開、さらに博物館展示及び教育的な活用が必須である。完形資料の情報公開については本稿がその一端を担うこととなるが、今後は重要陶片資料や一般陶片資料の情報公開が急務となる。

展示や出版物等による愛知用水関連資料・完形資料の情報発信に関して、既往の主な動向については本稿付論において概観している。ここで結論を先に述べれば、同資料の展示的活用については、博物館資料が本来有する多義性を回復することが急務である。しかし、これは前時代の受容形態を復古するのではなく、こんにちに相応しい受容へとシステムをアップデートするものでなければならない。また狭義の博物館教育的な活用は、研究者向けの資料閲覧を除けばこれまでほとんど行われていないことから、資料の保存・保安を第一としつつも、いわゆる教育普及活動における本資料の活用も検討されるべきである。

愛知用水関連資料・完形資料は、こんにち、何の役に立つのか。博物館資料としての今後の活用の在り方については、付論「愛知用水関連資料・完形資料の活用—歴史と展望—」において既往の受容史を確認した上で、提議を行うこととする。

付記

愛知県陶磁美術館学芸課には、「名古屋大学より愛知県陶磁資料館へ移管の愛知県古窯跡群出土品等 1989年3月」と表紙に記載された資料台帳が存在する。同台帳は愛知用水関連資料のうち完形資料と重要陶片資料を所収しており、これらの実資料を名古屋大学より陶磁資料館へ移動させた際に作成されたものと思われる。

本台帳「名古屋大学より愛知県陶磁資料館へ移管の愛知県古窯跡群出土品等 1989年3月」では各資料について、発掘調査直後に刊行された調査報告書における資料番号の記載がないため、台帳における各資料と実資料との照合作業は、台帳所収の資料画像を用いることが基本となる。本台帳の資料画像は紙焼き写真を普通紙に複写(コピー機による白黒画像か)したものと思われ、別途にカラー写真を貼付した資料台帳が存在する可能性があるが、現在は不詳である。

陶磁美術館では長く同台帳を基本台帳として、愛知用水関連資料の完形資料・重要陶片資料を保管してきた。本稿においてもこれに準じている。本稿作成にあたり同台帳所収の画像と実資料を照合する確

認作業を行ったが、現存する本台帳所収の画像はやや不鮮明で、完器で無文様の一部資料については照合確認が困難なものが存在する。

完形資料においては、黒笹 90 号窯資料の灰釉皿、八巻窯資料の山茶碗・小皿、孫右衛門窯資料の折縁小皿について、陶磁資料館内における常設展示、他館企画展への出品、近年の愛知県史編纂に伴う資料調査等の過程で、従来の基本台帳所収の資料と他類似資料との錯誤が生じている可能性を排除できない状況である。これらについては、将来より鮮明な画像を所収した台帳が出現公表された場合に実資料の再照合を行い、その結果によっては実資料を差替え修正することになるかもしれない。

なお、愛知用水関連資料・重要陶片資料と、同資料の保管史(2) — 一般陶片資料の陶磁資料館への移動から全資料の移管まで — については、後日稿を改めて紹介することとしたい。

表1

愛知用水関連資料・完形資料 目録

画像No.	資料名称	数量	生産窯・出土地	時代・年代	管理No.
1	蓋付短頸壺	1個	猿投・岩崎17号窯	飛鳥時代(7世紀)	Z1-1
2	短頸壺	1個	猿投・岩崎41号窯	飛鳥時代(7世紀)	Z1-2
3	蓋付四耳短頸壺	1個	猿投・岩崎17号窯	飛鳥時代(7世紀)	Z1-3
4	平瓶	1個	猿投・岩崎17号窯	飛鳥時代(7世紀)	Z1-4
5	蓋杯	1個	猿投・岩崎17号窯	飛鳥時代(7世紀)	Z1-5
6	播鉢	1個	猿投・岩崎17号窯	飛鳥時代(7世紀)	Z1-6
7	高杯片	1個	猿投・岩崎17号窯	飛鳥時代(7世紀)	Z1-7
8	短頸壺	1個	猿投・岩崎41号窯	飛鳥時代(7世紀)	Z1-8
9	鉢	1個	猿投・岩崎41号窯	飛鳥時代(7世紀)	Z1-9
10	片口鉢	1個	猿投・岩崎41号窯	飛鳥時代(7世紀)	Z1-10
11	台付長頸瓶	1個	猿投・岩崎41号窯	飛鳥時代(7世紀)	Z1-11
12	高杯	1個	猿投・東山50号窯	飛鳥時代(7世紀)	Z1-12
13	平瓶(大)	1個	尾北・高藏寺2号窯	奈良時代(8世紀)	Z1-13
14	平瓶(小)	1個	尾北・高藏寺2号窯	奈良時代(8世紀)	Z1-14
15	大盤	1個	尾北・高藏寺2号窯	奈良時代(8世紀)	Z1-15
16	片口鉢片	1個	尾北・高藏寺2号窯	奈良時代(8世紀)	Z1-16
17	把手付甌	1個	尾北・高藏寺2号窯	奈良時代(8世紀)	Z1-17
18	蓋杯	1個	尾北・高藏寺2号窯	奈良時代(8世紀)	Z1-18
19	円面硯(大)	1個	尾北・高藏寺2号窯	奈良時代(8世紀)	Z1-19
20	円面硯(小)	1個	尾北・高藏寺3号窯	奈良時代(8世紀)	Z1-20
21	双耳椀	1個	猿投・鳴海32号窯	奈良時代(8世紀)	Z1-21
22	蓋杯	1個	猿投・鳴海32号窯	奈良時代(8世紀)	Z1-22
23	塔屋蓋片	1個	猿投・鳴海32号窯	奈良時代(8世紀)	Z1-23
24	杯	1個	猿投・鳴海39号窯	奈良時代(8世紀)	Z1-24
25	水瓶	1個	猿投・折戸10号窯	奈良時代末期－平安時代初期(8世紀後葉－9世紀初)	Z1-25
26	浄瓶	1個	猿投・折戸10号窯	奈良時代末期－平安時代初期(8世紀後葉－9世紀初)	Z1-26
27	長頸瓶	1個	猿投・折戸9号窯	平安時代初期(9世紀初)	Z1-27
28	椀	1個	猿投・折戸9号窯	平安時代初期(9世紀初)	Z1-28
29	高盤	1個	猿投・黒笹3号窯	平安時代初期(9世紀初)	Z1-29
30	高盤	1個	猿投・黒笹3号窯	平安時代初期(9世紀初)	Z1-30
31	盤	1個	猿投・井ヶ谷78号窯	平安時代初期(9世紀初)	Z1-31
32	灰釉手付小瓶	1個	猿投・黒笹5号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-32
33	灰釉皿	1個	猿投・黒笹5号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-33
34	灰釉段皿	1個	猿投・黒笹5号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-34
35	三足盤	1個	猿投・黒笹5号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-35
36	平瓶	1個	猿投・黒笹14号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-36
37	三耳壺	1個	猿投・黒笹14号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-37
38	風字硯	1個	猿投・黒笹14号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-38
39	灰釉椀	1個	猿投・黒笹35号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-39
40	塔屋蓋片	3個	猿投・黒笹35号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-40
41	長頸瓶	1個	猿投・黒笹39号窯	奈良時代末期－平安時代初期(8世紀後葉－9世紀初)	Z1-41
42	長頸瓶	1個	猿投・黒笹39号窯	奈良時代末期－平安時代初期(8世紀後葉－9世紀初)	Z1-42
43	小型長頸瓶	1個	猿投・黒笹40号窯	奈良時代末期－平安時代初期(8世紀後葉－9世紀初)	Z1-43
44	小型蓋付短頸壺	1個	猿投・黒笹40号窯	奈良時代末期－平安時代初期(8世紀後葉－9世紀初)	Z1-44
45	小型円面硯	1個	猿投・黒笹35号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-45
46	風字硯	1個	猿投・井ヶ谷78号窯	平安時代初期(9世紀初)	Z1-46
47	花文輪花椀	1個	猿投・黒笹89号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-47
48	稜椀	1個	猿投・黒笹89号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-48
49	火舎	1個	猿投・黒笹89号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-49

50	風字硯	1個	猿投・黒笹89号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-50
51	合子(身)	1個	猿投・黒笹89号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-51
52	陶鎮片	1個	猿投・黒笹89号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-52
53	花文手付瓶	1個	猿投・黒笹89号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-53
54	小瓶	1個	猿投・黒笹90号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-54
55	灰釉皿	1個	猿投・黒笹90号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-55
56	輪花段皿	1個	猿投・黒笹89号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-56
57	透彫花文蓋付香炉	1個	猿投・黒笹89・90号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-57
58	稜皿	1個	猿投・黒笹90号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-58
59	稜椀	1個	猿投・黒笹90号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-59
60-1・2	鉢片	1個	猿投・黒笹90号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-60
61-1・2	花文椀	1個	猿投・黒笹90号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-61
62	耳皿	1個	猿投・黒笹90号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-62
63	花文大椀片	1個	猿投・黒笹90号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-63
64	陶枕片	1個	猿投・黒笹90号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-64
65	花文皿片	1個	猿投・黒笹90号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-65
66	片口椀片	1個	猿投・東山G-79号窯	平安時代末期(11世紀末-12世紀前葉)	Z1-66
67	巴文軒丸瓦	1個	猿投・東山G-61号窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-67-1
67	唐草文軒平瓦	1個	猿投・東山G-61号窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-67-2
68	火舎	1個	猿投・八事堂址	平安時代前期(9世紀)	Z1-68
69	花瓶	1個	猿投・八事堂址	平安時代前期(9世紀)	Z1-69
70-1・2	二彩三足盤	1個	猿投・八事堂址	平安時代前期(9世紀)	Z1-70
71-1・2	二彩三足盤	1個	猿投・八事堂址	平安時代前期(9世紀)	Z1-71
72	緑釉陶片	6個	尾北・篠岡5号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-72
73	灰釉椀	1個	尾北・篠岡5号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-73
74	緑釉椀片	1個	猿投・鳴海49号窯	平安時代前期(9世紀)	Z1-74
75	小型高盤	1個	猿投・鳴海32号窯	奈良時代(8世紀)	Z1-75
76	片口鉢	1個	知多・竈池9号窯	鎌倉時代(13世紀)	Z1-76
77	分銅	1個	知多・竈池9号窯	鎌倉時代(13世紀)	Z1-77
78	壺	1個	知多・竈池9号窯	鎌倉時代(13世紀)	Z1-78
79	短頸壺	1個	知多・陶ヶ峰2号窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-79
80	山茶碗	1個	知多・陶ヶ峰2号窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-80
80	小皿	1個	知多・陶ヶ峰2号窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-81
81	壺	1個	知多・窯山3号窯	鎌倉時代(13世紀)	Z1-82
82	羽釜	1個	知多・松濶2号窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-83
83	三筋壺	1個	知多・金色5号窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-84
84	甕	1個	知多・金色5号窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-85
85	山茶碗	1個	知多・市右原3号窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-86
85	小皿	1個	知多・市右原3号窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-87
86	山茶碗	2個	知多・八巻窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-88
87	小皿	2個	知多・八巻窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-89
88	短頸壺	1個	知多・八巻窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-90
89	片口鉢	1個	知多・八巻窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-91
90	片口鉢	1個	知多・平井口1号窯	室町時代(15世紀)	Z1-92
91	灰釉香炉片	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-93
91	灰釉香炉片	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-94
91	灰釉香炉片	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-95
92	灰釉水滴	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-96
92	灰釉水滴	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-97
93	灰釉花瓶	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-98
94	灰釉水滴	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-99
94	灰釉印花文水滴	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-100
95	鉄釉水注片	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-101
96	灰釉水注	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-102
97	鉄釉小壺	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-103
97	鉄釉小壺	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-104
97	鉄釉小壺	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-105
98	鉄釉片口小壺	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-106
99	狛犬片	10個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-107

100	灰釉平碗	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-108
101	天目茶碗片	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-109
102	灰釉合子	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-110
102	灰釉合子	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-111
103	灰釉折縁小皿	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-112
103	灰釉折縁小皿	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-113
104	灰釉柄付片口	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-114
105	灰釉折縁鉢	1個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-115
106	山茶碗片	2個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-116
107	小皿片	2個	瀬戸・孫右衛門北2・3号窯	南北朝時代(14世紀)	Z1-117
108	草文小型水注	1個	知多・八巻窯	平安時代末期(12世紀)	Z1-118



1 蓋付短頸壺 1個
 猿投 岩崎 17号窯出土
 飛鳥時代 7世紀
 Z1-1



2 短頸壺 1個
 猿投 岩崎 17号窯出土
 飛鳥時代 7世紀
 Z1-2



3 蓋付四耳短頸壺 1個
 猿投 岩崎 17号窯出土
 飛鳥時代 7世紀
 Z1-3



4 平瓶 1個
 猿投 岩崎 17号窯出土
 飛鳥時代 7世紀
 Z1-4



5 蓋杯 1個
 猿投 岩崎 17号窯出土
 飛鳥時代 7世紀
 Z1-5



6 播鉢 1個
 猿投 岩崎 17号窯出土
 飛鳥時代 7世紀
 Z1-6



7 高杯片 1個
 猿投 岩崎 17号窯出土
 飛鳥時代 7世紀
 Z1-7



8 短頸壺 1個
 猿投 岩崎 41号窯出土
 飛鳥時代 7世紀
 Z1-8



9 鉢 1個
 猿投 岩崎 41号窯出土
 飛鳥時代 7世紀
 Z1-9



10 片口鉢 1個
 猿投 岩崎 41号窯出土
 飛鳥時代 7世紀
 Z1-10



11 台付長頸瓶 1個
 猿投 岩崎 41号窯出土
 飛鳥時代 7世紀
 Z1-11



12 高杯 1個
 猿投 東山 50号窯出土
 飛鳥時代 7世紀
 Z1-12



13 平瓶（大）1個
尾北 高藏寺2号窯出土
奈良時代 8世紀
Z1-13



14 平瓶（小）1個
尾北 高藏寺2号窯出土
奈良時代 8世紀
Z1-14



15 大盤 1個
尾北 高藏寺2号窯出土
奈良時代 8世紀
Z1-15



16 片口鉢片 1個
尾北 高藏寺2号窯出土
奈良時代 8世紀
Z1-16



17 把手付甕 1個
尾北 高藏寺2号窯出土
奈良時代 8世紀
Z1-17



18 蓋杯 1個
尾北 高藏寺2号窯出土
奈良時代 8世紀
Z1-18



19 円面碗 大 1個
尾北 高藏寺2号窯出土
奈良時代 8世紀
Z1-19



20 円面碗（小）1個
尾北 高藏寺3号窯出土
奈良時代 8世紀
Z1-20



21 双耳碗 1個
猿投 鳴海32号窯出土
奈良時代 8世紀
Z1-21



22 蓋杯 1個
猿投 鳴海32号窯出土
奈良時代 8世紀
Z1-22



23 塔屋蓋片 1個
猿投 鳴海32号窯出土
奈良時代 8世紀
Z1-23



24 杯 1個
猿投 鳴海39号窯出土
奈良時代 8世紀
Z1-24



25 水瓶 1個
 猿投 折戸 10号窯出土
 奈良時代末期—平安時代初期
 8世紀後葉—9世紀初
 Z1-25



26 浄瓶 1個
 猿投 折戸 10号窯出土
 奈良時代末期—平安時代初期
 8世紀後葉—9世紀初
 Z1-26



27 長頸瓶 1個
 猿投 折戸 9号窯出土
 平安時代初期 9世紀初
 Z1-27



28 碗 1個
 猿投 折戸 9号窯出土
 平安時代初期 9世紀初
 Z1-28



29 高盤 1個
 猿投 黒笹 3号窯出土
 平安時代初期 9世紀初
 Z1-29



30 高盤 1個
 猿投 黒笹 3号窯出土
 平安時代初期 9世紀初
 Z1-30



31 盤 1個
 猿投 井ヶ谷 78号窯出土
 平安時代初期 9世紀初
 Z1-31



32 灰釉手付小瓶 1個
 猿投 黒笹 5号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-32



33 灰釉皿 1個
 猿投 黒笹 5号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-33



34 灰釉段皿 1個
 猿投 黒笹 5号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-34



35 三足盤 1個
 猿投 黒笹 5号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-35



36 平瓶 1個
 猿投 黒笹 14号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-36



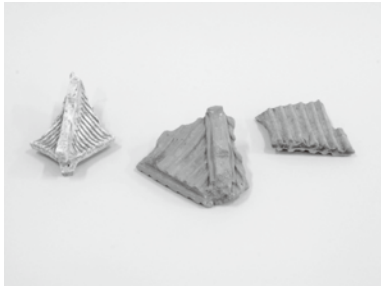
37 三耳壺 1個
 猿投 黒笹 14号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-37



38 風字硯 1個
 猿投 黒笹 14号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-38



39 灰釉椀 1個
 猿投 黒笹 35号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-39



40 塔屋蓋片 3個
 猿投 黒笹 35号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-40



41 長頸瓶 1個
 猿投 黒笹 39号窯出土
 奈良時代末期—平安時代初期
 8世紀後葉—9世紀初
 Z1-41



42 長頸瓶 1個
 猿投 黒笹 39号窯出土
 奈良時代末期—平安時代初期
 8世紀後葉—9世紀初
 Z1-42



43 小型長頸瓶 1個
 猿投 黒笹 40号窯出土
 奈良時代末期—平安時代初期
 8世紀後葉—9世紀初
 Z1-43



44 小型蓋付短頸壺 1個
 猿投 黒笹 40号窯出土
 奈良時代末期—平安時代初期
 8世紀後葉—9世紀初
 Z1-44



45 小型円面硯 1個
 猿投 黒笹 35号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-45



46 風字硯 1個
 猿投 井ヶ谷 78号窯出土
 平安時代初期 9世紀初
 Z1-46



47 花文輪花椀 1個
 猿投 黒笹 89号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-47



48 稜椀 1個
 猿投 黒笹 89号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-48



49 火舎 1個
 猿投 黒笹 89号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-49



50 風字硯 1個
 猿投 黒笹 89号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-50



51 合子(身) 1個
 猿投 黒笹 89号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-51



52 陶鎮片 1個
 猿投 黒笹 89号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-52



53 花文手付瓶 1個
 猿投 黒笹 89号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-53



54 小瓶 1個
 猿投 黒笹 90号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-54



55 灰釉皿 1個
 猿投 黒笹 90号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-55



56 輪花段皿 1個
 猿投 黒笹 89号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-56



57 透彫花文蓋付香炉 1個
 猿投 黒笹 89・90号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-57



58 稜皿 1個
 猿投 黒笹 90号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-58



59 稜椀 1個
 猿投 黒笹 90号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-59



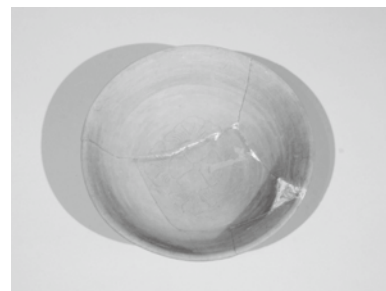
60-1 鉢片 1個
 猿投 黒笹 90号窯出土
 平安時代前期 9世紀
 Z1-60



60-2
60-1の裏面



61-1 花文椀 1個
猿投 黒笹90号窯出土
平安時代前期 9世紀
Z1-61



61-2
61-1の見込



62 耳皿 1個
猿投 黒笹90号窯出土
平安時代前期 9世紀
Z1-62



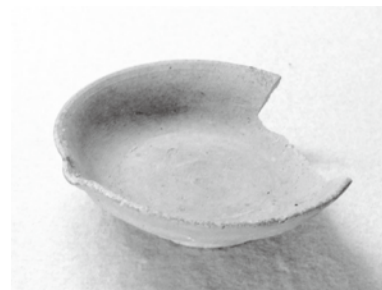
63 花文大椀片 1個
猿投 黒笹90号窯出土
平安時代前期 9世紀
Z1-63



64 陶枕片 1個
猿投 黒笹90号窯出土
平安時代前期 9世紀
Z1-64



65 花文皿片 1個
猿投 黒笹90号窯出土
平安時代前期 9世紀
Z1-65



66 片口椀片 1個
猿投 東山G-79号窯出土
平安時代末期
11世紀末-12世紀前葉
Z1-66



67 巴文軒丸瓦 1個
唐草文軒平瓦 1個
猿投 東山G-61号窯出土
平安時代末期 12世紀
Z1-67-1・2



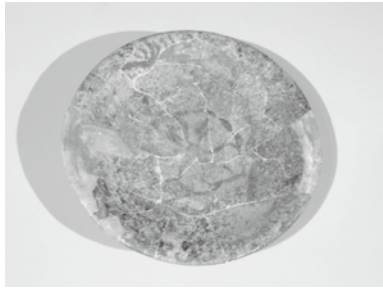
68 火舎 1個
猿投 猿投・八事堂址出土
平安時代前期 9世紀
Z1-68



69 花瓶 1個
猿投 八事堂址出土
平安時代前期 9世紀
Z1-69



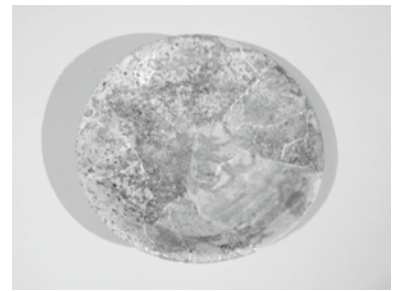
70-1 二彩三足盤 1個
猿投 八事堂址出土
平安時代前期 9世紀
Z1-70



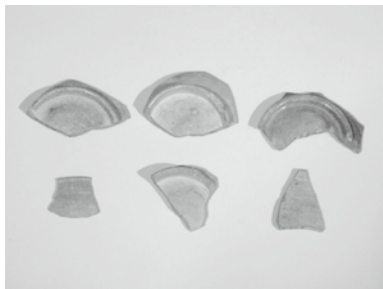
70-2
70-1 の見込



71-1 二彩三足盤 1個
猿投 八事堂址出土
平安時代前期 9世紀
Z1-71



71-2
71-1 の見込



72 緑釉陶片 6個
尾北 篠岡 5号窯出土
平安時代前期 9世紀
Z1-72



73 灰釉椀 1個
尾北 篠岡 5号窯出土
平安時代前期 9世紀
Z1-73



74 緑釉椀片 1個
猿投 鳴海 49号窯出土
平安時代前期 9世紀
Z1-74



75 小型高盤 1個
猿投 鳴海 32号窯出土
奈良時代 8世紀
Z1-75



76 片口鉢 1個
知多 籠池 9号窯出土
鎌倉時代 13世紀
Z1-76



77 分銅 1個
知多 籠池 9号窯出土
鎌倉時代 13世紀
Z1-77



78 壺 1個
知多 籠池 9号窯出土
鎌倉時代 13世紀
Z1-78



79 短頸壺 1個
知多 陶ヶ峰 2号窯出土
平安時代末期 12世紀
Z1-79



80 山茶椀 1個
小皿 1個
知多 陶ヶ峰 2号窯出土
平安時代前期 9世紀
Z1-80・81



81 壺 1点
知多 窯山3号窯出土
鎌倉時代 13世紀
Z1-82



82 羽釜 1個
知多 松淵2号窯出土
平安時代末期 12世紀
Z1-83



83 三筋壺 1個
知多 金色5号窯
平安時代末期 12世紀
Z1-84



84 甕 1個
知多 金色5号窯出土
平安時代末期 12世紀
Z1-85



85 山茶椀 1個
小皿 1個
知多 市右原3号窯出土
平安時代末期 12世紀
Z1-86・87



86 山茶椀 2個
知多 八巻窯出土
平安時代末期 12世紀
Z1-88



87 小皿 2個
知多 八巻窯出土
平安時代末期 12世紀
Z1-89



88 短頸壺 1個
知多 八巻窯出土
平安時代末期 12世紀
Z1-90



89 片口鉢 1個
知多 八巻窯出土
平安時代 12世紀
Z1-91



90 片口鉢 1個
知多 平井口1号窯出土
室町時代 15世紀
Z1-92



91 灰釉香炉片 3個
瀬戸 孫右衛門北2・3号窯出土
南北朝時代 14世紀
Z1-93・94・95



92 灰釉水滴 2個
瀬戸 孫右衛門北2・3号窯出土
南北朝時代 14世紀
Z1-96・97



93 灰釉花瓶 1 個
瀬戸 孫右衛門北 2・3 号窯出土
南北朝時代 14 世紀
Z1-98



94 灰釉水滴 1 個
灰釉印花文水滴 1 個
瀬戸 孫右衛門北 2・3 号窯出土
南北朝時代 14 世紀
Z1-99・100



95 鉄釉水注片 1 個
瀬戸 孫右衛門北 2・3 号窯出土
南北朝時代 14 世紀
Z1-101



96 灰釉水注 1 個
瀬戸 孫右衛門北 2・3 号窯出土
南北朝時代 14 世紀
Z1-102



97 鉄釉小壺 3 個
瀬戸 孫右衛門北 2・3 号窯出土
南北朝時代 14 世紀
Z1-103・104・105



98 鉄釉片口小壺 1 個
瀬戸 孫右衛門北 2・3 号窯出土
南北朝時代 14 世紀
Z1-106



99 狛犬片 10 個
瀬戸 孫右衛門北 2・3 号窯出土
南北朝時代 14 世紀
Z1-107



100 灰釉平碗 1 個
瀬戸 孫右衛門北 2・3 号窯出土
南北朝時代 14 世紀
Z1-108



101 天目茶碗片 1 個
瀬戸 孫右衛門北 2・3 号窯出土
南北朝時代 14 世紀
Z1-109



102 灰釉合子 2 個
瀬戸 孫右衛門北 2・3 号窯出土
南北朝時代 14 世紀
Z1-110・111



103 灰釉折縁小皿 2 個
瀬戸 孫右衛門北 2・3 号窯出土
南北朝時代 14 世紀
Z1-112・113



104 灰釉柄付片口 1 個
瀬戸 孫右衛門北 2・3 号窯出土
南北朝時代 14 世紀
Z1-114



105 灰釉折縁鉢 1個
瀬戸 孫右衛門北2・3号窯出土
南北朝時代 14世紀
Z1-115



106 山茶碗片 2個
瀬戸 孫右衛門北2・3号窯出土
南北朝時代 14世紀
Z1-116



107 小皿片 2個
瀬戸 孫右衛門北2・3号窯出土
南北朝時代 14世紀
Z1-117



108 草文小型水注 1個
知多 八巻窯出土
平安時代末期 12世紀
Z1-118